

SSKU

No. 78

露の会だより

八王子西局

料金別納
郵便

グッド・Toy 2014 選定証をいただきました！！



ひのき工房

赤ちゃんに
優しい天然木の感触と
心地よい響きを
感じてほしいとの思いで
開発しました。

安全性にもこだわり
塗料は食用オイルを
薄く塗り布でみがいて
仕上げています。



店内

低料第三種郵便

社会福祉法人 露の会

障害福祉サービス事業所
生活介護・就労継続支援 (B型)

東京都認定短期入所施設
認定短期・日中一時・移動支援

障害福祉サービス事業所
就労継続支援 (B型)・生活介護

ふきのとう

ころぼっくる

ひのき工房

〒193-0834

八王子市東浅川町 625-5

TEL 042(667)4158

FAX 042(667)9489

〒193-0834

八王子市東浅川町 629-1

TEL 042(666)5609

FAX 042(666)5619

〒193-0826

八王子市元八王子町 2-1839-2

TEL 042(667)2158

FAX 042(667)2168

＜目次＞	
1. 理事長あいさつ	1, 2
2. 事業計画	
本部	3
ふきのとう	4
ころぼっくる	5
ひのき工房	6
3. 予算書	7
4. 事業報告	
本部	8
ふきのとう	9
ころぼっくる	10
ひのき工房	11
5. 決算報告	12
6. 各施設から	
ふきのとう	14
ころぼっくる	15
ひのき工房	16
7. 後援会だより	17, 18

「地域社会に開かれた施設に」

理事長 岩澤六夫

＝施設も利用者も近隣住民の皆さんに親しみを持って受け入れられ、

いざという時にお互いに助け合える関係を作りましょう！＝

3.11の大震災で障害のある人やお年寄りの施設の重大被災率が高かったため、施設と地域の連携の必要性が強調されました。しかし、「地域社会との連携」という標語を掲げるだけでは何も進みません。

第二ふきのとうも、10年かかって地域に溶け込み近隣住民にととても親しまれ、日常的な交流が自然に出来るようになっていきましたが、その東浅川の原町町会から、それまで何一つ関わりがなかった元八王子町に施設づくりを計画した時、私共の申し出は、当初ほぼ拒絶に近い抵抗を受けました。何度も足を運び、時には利用者も一緒に理解を求め続け、何年もかかってやっと建設の了解を頂きました。

平成21年4月ひのき工房として開所してから、私共は、町会をはじめ近隣住民、小中学校、保健生協、他の福祉施設の方々と双方向のお付き合いを始めました。満5年経った現在の地域との関わりは、次のようなものです。

地域とひのき工房の関わり

(イ)地域町会の一員として参加

- ①町会定期総会、北八日市四組総会いづれも必ず参加
- ②地域防災訓練には、通所日として職場利用者の多数が参加
- ③町会特防隊、数名の職員が隊員としてその活動に参加
- ④町会夏祭り、はちせい祭り、はちせいふれあい感謝祭に利用者と出店参加交流
- ⑤町会研修旅行、新年会に参加

(ロ)地域のために協力

- ①集団回収 年計10回
(二丁目町会は、個別回収、三丁目は数ヶ所にまとめられたものを回収)
- ②毎年城山小の6年生の木工授業(3時限、利用者と共に協力)
- ③地域の子供たちのために町会がやっているサタデースクールのお手伝い、役員さんがひのき工房で、竹トンボ作り等の準備をされたりしています。
- ④小、中学校やミニストップなど地域商店のペットボトル、ダンボールの回収に協力
- ⑤施設前の生活道路の雪かき、草刈を年何回も実施、とても喜ばれている。

(ハ)ひのき工房祭りなど、ひのき工房の行事に地域の皆さんが積極的に参加

- ①毎年、地域住民など約500名参加
- ②近隣農家がとれたて野菜など出店参加
- ③スターバックスなどコーヒー無料サービス
- ④その他、中学校から社会勉強のため毎年実習
- ⑤毎年2月ミニストップより恵方巻プレゼント
- ⑥利用者さんが、ひのき工房便りを近隣四組住民に個別配布

これらの地域との関わりによってかろうじて「作っても良い施設」から出発し、「地域にあってもよい施設」になり、今は、「あったほうがよい施設」になりつつあります。今後は、たとえ何年かかっても「地域になくはならない施設」に、成長していけるよう、毎年一步一步努力していかねばなりません。

社会福祉法人露の会の前身である無認可「ふきのとう」は、東浅川町、三田町会のけやき通りで、平成2年に産声をあげました。発足当時は、リサイクルやバザーが主な作業でしたが、近隣住民の皆さんが空き缶や古紙、そしてバザー用品を持って来て下さいました。一年に何回も歩道一杯に店を広げてのバザーは、とても人気で、いつも盛況でした。その結果、法人格をとり、新しい施設を同じ町会に建設することになった時も、地域住民や町会から何の反対もなく、ごく自然に受け入れていただきました。平成15年新施設に移ってから町会の夏祭りや十二社神社の灯明祭など、積極的に出店参加していました。ふきのとう職員、利用者は勿論、御家族やボランティアの皆さんが積極的に協力して作り上げていった“ふきのとう工芸祭”には、大勢の地域住民の皆さんが参加し、仲間の障害者施設も沢山協力出店し、とても盛大な祭りになっていきました。御家族の方たちが、駐車場に作った舞台上、いろいろな出し物もありましたね！

「いつでも、だれでも利用できるショートステイを」という御家族の要望で平成18年に開設した「ころぼっくる」も、地域の方の土地提供というありがたい支援で出来たものです。私達露の会は、それぞれの施設が、これからも地域住民に親しみを持って受け入れられ、助けられ、そして地域のためにも役に立つ、なくてはならない施設に成長し続け、利用者の皆さんが住み慣れた地域で気持ちよく安心して暮らせるよう努力していきたくと思います。皆様方の御理解と御支援を今後も引き続きよろしくお願い申し上げます。

平成26年度 法人本部 事業計画

社会福祉法人 露の会
法人事務局

1. 法人理念、経営方針の策定

法人の経営目的や目指すものを明示し、目的遂行のための精神的バックボーンであり常に戻るべき原点として「法人理念」を制定し、理念の実現に向けて行う法人の運営や活動の基本的考え方(基本方針)として「組織運営方針」を策定する。理念や方針を全職員が理解・共有することにより、多種多様な人の集団である露の会の組織に一本の芯を通し、結束して一貫性のあるサービスを提供できる土台とする。

2. 人材の育成

昨年度は採用活動を活発に行い、法人運営に必要な人員数を確保することができた。今年度は在籍する職員の個々の能力アップと、それを結集させることにより法人としてのパワーを一層大きなものとするために次の施策に着手する。

- ①新たに策定される「法人理念・経営方針」を実現する人材を育成するための「人材育成基本方針」の策定。
- ②組織運営に必要な「資格」について、将来も見込んで取得計画を立案し、必要に応じて研修会等に派遣。
- ③職員の資質と支援能力の向上のため、法人内研修に注力する。
- ④法人としての一体感の醸成のため、施設間職員交流を活発に行う。
 - ・施設行事や施設主催の研修等に他施設からの参加要請。
 - ・3施設合同での行事や懇親会の開催。
 - ・施設間の人事異動・人事交流の実施等
- ⑤新入職員採用時の教育マニュアルを作成し、新人教育を実施する。

3. 資産の有効活用

昨年、ひのき工房で取得した隣地不動産を、法人としてどのように利用するのが最も効果的な活用か、ひのき工房と共に検討を行う。

4. 会計業務の効率化

当法人では「新・福祉法人会計基準」に基づき経理処理を行っているが、現在使用しているソフトでは十分に対応しきれておらず、個人のノウハウにより処理や判断をせざるを得ないことがしばしば起こり、ミスを防ぐためのチェックを何度も行うことが必要であるなど、効率が良いとは言えない。

経理処理の適正化と効率向上・工数削減を目的に「新会計ソフト」導入の必要性について検討を行う。必要と判断された時は、効率性・利便性、経済性等について調査し、最適なソフトを導入する。

5. 法人機関紙露の会だよりの発行

施設間はもとより支援を頂いている地域住民や関係者の皆さんに1年間の方針や決算内容をお知らせします。

平成26年度 ふきのとう 事業計画

ふきのとう施設長 江川 修己

<26年度重点目標>

個別支援計画に基づき住み慣れた地域で生活する、いろいろな障害のある方が、その人らしく生きるために必要な支援をともに考え、必要な援助をしていく。

1. 生産活動

- 木工製品の製作等・・・個々の作業能力が充分発揮できるように工夫する。
- 販売活動・・・委託販売や出店、「森のお店(施設内)」の販売の方法やディスプレイなどにも積極的に利用者意見を取り入れ、意欲的に取り組めるように工夫する。
- 実習及び求職活動・・・当施設での訓練はもとより同種他施設とも交流を図りながら視野を広め一般就労に向けた実習に関する情報収集に努め各利用者に参加を推奨していく。
- 就労移行及び職場定着支援・・・訓練を通して協調性とコミュニケーションを体得させ、働くことの大切さと喜びを体感できるように導いていく。

2. 利用者支援の具体的な内容

個別支援計画に基づき、下記の活動に取り組む。

①生活の支援

食事・排泄・移動動作などの基本的な日常動作等、自立生活に必要な支援を行う。

②授産活動

木工製品の製作、販売活動等、意欲的に取り組めるように工夫する。

③その他の活動

授産活動だけでなく、手芸教室、パソコン教室、ハンドベル音楽教室、絵画教室等レクリエーションや通所中の様々な活動の中で個々の力を発揮し、生き生きと参加できるように工夫する。

3. 地域との交流他

- ①夏祭り、誕生会などの施設行事を企画し、畑の貸出を行い、地域の方々やボランティアの皆さんに参加していただき、相互理解の場とする。
- ②機関誌「露の会だより」を年1回発行し、露の会3施設の活動報告や、読者の方の意見を掲載することで露の会の活動への理解をしていただく場とする。
- ③八王子市内特別支援学校、八王子市内の大学等の実習生を受け入れ、通所者の方々と直接交流する機会を持つことで、障害を持つ方への理解を深めてもらう。

4. 職員個々のスキルアップと連携の強化

- ①定期的な職員ミーティング、生活支援会議の開催や、日常的な連絡の徹底など、より連携の取れた職員集団を目指す。
- ②内部研修の実施や、外部での研修に積極的に参加し、様々な疾病や障害への知識を高めることにつとめる。
- ③身体介護の技術を身につける等、職員一人一人のスキルアップにつとめる。
- ④島田療育センター八王子所長、小沢医師による施設訪問診察を年4回実施する。

平成26年度 ころぼっくる 事業計画

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

事業所名	東京都認定短期入所施設 ころぼっくる
事業名	地域生活支援事業 (1) 認定短期入所事業 (2) 日中一時支援事業 (3) 移動支援事業
職員数	施設長 (1) 非常勤職員 (26)

<事業運営方針>

①障害のある方が、住み慣れた地域でいきがいをもち、自分らしく生きることを、ショートステイを通して支援する。

- (1) 利用者とその家族が安心して利用できる環境を作る。
- (2) 利用中、一人ひとりの持つ能力を活かした生活ができるように支援する。
- (3) 地域の人たちと交流の機会を持ち、相互理解の場を持つ。
- (4) 利用者一人ひとりにあった社会参加における移動支援を行う。

②「安定した運営基盤の確立」

- (1) 地域生活支援事業を単独事業として運営できるよう、他の事業所の見学等行い、運営方法を再考していきます。
- (2) 行政への運動を継続し、支援をするために必要な額を助成するよう訴えていきます。

③「支援内容」

- (1) 寄り添い、心を吸い上げる支援に努めていきます。
- (2) 家庭にいるように、安心できる雰囲気作りに努めていきます。
- (3) 活動(造形・外出・音楽)の充実、楽しく過せるよう工夫していきます。

④「より質の高い職員集団を目指す」

利用登録者は、年齢層も幅広く、毎日利用される方も違います。それは、「日々利用者さんが必要とする支援内容が異なる」ということを表しています。

その中でも、安全に安心して過ごせるよう一人ひとりの理解に努めるために、知識や技術の習得に取り組みます。

- (1) 内部・外部研修への参加により、支援者としての資質向上に努める。
- (2) 日常の引き継ぎ業務の徹底、業務ミーティングの実施により、職員間の連携を高める。

平成26年度 ひのき工房 事業計画

ひのき工房 施設長 関 裕子

< 26年度重点目標>

1. 事業方針

- ① 私たちは、障害のある方たちが地域で自分らしく自立した生活を営み、元気で生き生きと楽しく働けるよう、職員一丸となって利用者支援に取り組む
- ② 毎年工賃アップを図り、5年以内に利用者工賃平均月額3万円の実現をめざす
- ③ この地域で障害のある人たちが共に生きていけるように、地元町会・住民等と地域交流を深め、地域の皆様にも役立つ施設作りをめざす
- ④ グループホーム開設の可能性を検討し、3年以内の実現をめざす

2. 生産活動 — 工賃アップのため年間売上1,000万円をめざす!

- ① 年間売り上げ目標

木工	リサイクル	農園	その他	合計
400万円	480万円	50万円	108万円	1038万円

- ② 木工 : イベント販売に積極的に参加 — 定常イベントの他、新規イベント販売開拓
新製品開発 — 木工会議が機能する体制を作り、新製品の種類を増やす
- ③ リサイクル: 利用者・職員協力し、回収・薪作りに安全第一で取り組む
(パッカー車2台、ダンプ1台)

3. 健康管理 — リハビリのさらなる充実をめざす!

- ① 八王子保健生活協同組合城山病院の嘱託医師による訪問相談を継続実施 (月1回)
- ② 理学療法士によるリハビリを実施 (週1回)
- ③ 医師の指導にもとづいた歩行リハビリ等を、職員が付き添い安全に毎通所日に実施
- ④ 看護師による健康管理指導 (週1回)

4. 楽しいレクリエーションがいっぱい!

- ① 1年を通し、利用者の皆さんが楽しめる行事を企画する。
旅行、花見、公園、紅葉狩り、カラオケ会、ゲーム大会、祭、運動会、コンサート、食事会等
- ② 昼休みに、利用者さんも職員も一緒に将棋やウノ、トランプ、卓球、散歩などを行い、利用者さんの心身の健康維持に努め、楽しく過ごせるよう工夫する。

5. 地域交流を大切に、町会や医療機関等地域との連携強化を図る!

- ① 元八2丁目・3丁目町会集団回収、城山小学校の木工教室・中学校の職場体験実習等に積極的に協力、はちせい祭、町会夏祭り、町会合同防災訓練等にも積極的に参加し、地域住民と今年もさらに強いつながりを深め、災害時等連携のとれる体制が築けるように努める。
- ② 地域住民の皆さまに日頃の感謝の気持ちを表し、11月に第6回ひのき工房祭を行う。
- ③ ひのき工房だよりを毎月、地域に配布

6. 職員の資質向上とチームとして連携のとれた職員集団をめざす!

- ① 各ミーティング、会議の充実を図る

全体ミーティング	毎朝	職員ミーティング	毎朝
職員会議	毎週	ケース会議	定期的・随時
木工会議	定期的		

- ② 職員研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップに努める (外部研修随時・施設内研修年間6回以上)

26年度 資金収支予算

自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日

社会福祉法人路の会

(単位 円)

勘定科目	経理区分	26年度予算	法人本部	ひのき工房	ふきのとう	ころぼっくる
事業活動による収入	就労支援事業収入 ①	12,200,000	0	10,380,000	1,820,000	0
	木工事業収入	5,676,000	0	4,000,000	1,676,000	0
	リサイクル事業収入	4,800,000	0	4,800,000	0	0
	その他収入	1,724,000	0	1,580,000	144,000	0
	障害福祉サービス等事業収入 ②	141,033,423	0	75,780,200	43,175,000	22,078,223
	自立支援費等収入	100,900,000	0	63,600,000	37,300,000	0
	利用者負担金収入	115,000	0	50,000	65,000	0
	特定費用収入	1,750,000	0	1,500,000	250,000	0
	その他事業収入	38,268,423	0	10,630,200	5,560,000	22,078,223
	都補助事業収入	500,000	0	0	500,000	0
	市補助事業収入	15,690,200	0	10,630,200	5,060,000	0
	都補助事業収入(処遇改善)	0	0	0	0	0
	受託事業収入	22,078,223	0	0	0	22,078,223
	経常経費寄附金収入 ③	380,000	30,000	200,000	100,000	50,000
	受取利息配当金収入 ④	2,000	500	1,000	500	0
その他事業収入 ⑤	3,340,000	30,000	3,110,000	100,000	100,000	
事業活動による収入 計 ⑥=①+②+③+④+⑤		156,955,423	60,500	89,471,200	45,195,500	22,228,223
内就労支援以外の収入 ⑦=②+③+④+⑤		144,755,423	60,500	79,091,200	43,375,500	22,228,223
支出	就労支援事業支出 ⑧	12,441,000	0	10,380,000	2,061,000	0
	人件費支出 ⑨	112,197,375	8,623,342	56,440,000	29,026,473	18,107,560
	事業費支出 ⑩	16,358,900	0	9,530,000	4,365,000	2,463,900
	事務費支出 ⑪	14,164,000	1,296,000	6,440,000	4,272,000	2,156,000
	サービス活動支出 計 ⑫=⑧+⑨+⑩+⑪		142,720,275	9,919,342	72,410,000	37,663,473
就労支援事業収支差額 ⑬=①-⑧		-241,000	0	0	-241,000	0
サービス活動収支差額 ⑭=⑦-⑫		2,035,148	-9,858,842	6,681,200	5,712,027	-499,237
合計サービス活動収支差額 ⑮=⑬+⑭		1,794,148	-9,858,842	6,681,200	5,471,027	-499,237
設備資金借入金償還補助金収入 ⑯		1,490,000	1,490,000	0	0	0
設備資金借入金元金償還支出 ⑰		1,490,000	1,490,000	0	0	0
施設整備等資金収支差額 ⑱=⑯-⑰		0	0	0	0	0
その他の活動収支	収入					
	拠点区分間繰入金収入	4,316,000	3,816,000	0	0	500,000
	サービス区分間繰入金収入	6,624,000	6,624,000	0	0	0
	その他の活動収入 計 ⑲	10,940,000	10,440,000	0	0	500,000
	支出					
	拠点区分間繰入金支出	4,316,000	500,000	0	3,816,000	0
サービス区分間繰入金支出	6,624,000	0	6,624,000	0	0	
その他の活動支出 計 ⑳	10,940,000	500,000	6,624,000	3,816,000	0	
その他の活動資金収支差額 ㉑=⑲-⑳		0	9,940,000	-6,624,000	-3,816,000	500,000
当期資金収支差額 合計 ㉒=⑮+⑱+㉑		1,794,148	81,158	57,200	1,655,027	763

平成25年度 法人本部 事業報告

社会福祉法人 露の会 法人本部

1. 法人本部事務局体制の整備

法人本部の職員体制が整ったことにより、整備不十分であった規程・規則類の制定・改訂を進めることができた。

20件以上の規程・規則・マニュアルなどを制定し、理事会での承認を得て施行したことにより、公平で円滑な法人運営や事務局業務の効率化に寄与した。

2. 職員の労働条件の改善

賃金規程を改訂し、これに基づいて4月から処遇の引き上げを実施した。賃金の底上げを図ることを目的に、全職員の平均で月額約11,000円の賃上げを行った。

これにより毎年必要となる財源は年約400万円の増であり、今後も毎年月額1,000円の賃上げを行うには、さらに財源の上増しが必要であり、安定的な収益の拡大・財源の確保の施策が必要である。

3. 経理事務のチェック体制の確立

前記処遇改善の財源を確保したうえで、赤字を発生させないように毎月の月次決算を法人事務局では慎重に行うとともに、理事会でも詳細な報告をして現状を把握してもらえよう努めた。

25年度は実質的には黒字を確保することができたが、期中にひのき工房で隣地の土地家屋を購入したため単年度での決算上はマイナスを計上している。

4. 「ころぼっくる」の赤字解消

24年度に利用者・家族の協力を得て料金の値上げを実施し、さらに単位制から時間制への改善を行政に認めてもらうことができた。

加えて、今年度は魅力的なイベントを増やして、利用者を増加する努力を行った。

その結果、従来年平均約300万円の運営費の不足であったが、今年度は約100万円の不足に改善された。しかし、黒字事業への転換は実現しておらず赤字状態は続いている。今後、法人としての基本方針を打ち出し、どのように事業運営を行うかを判断する必要がある。

5. ホームページ（HP）の立ち上げ

前年に立ち上げた「ふきのとう」と「ひのき工房」のHPに続き、今年度は法人本部、露の会後援会および「ころぼっくる」のHPを立ち上げる計画であった。後援会と調整のうえで後援会を含めた露の会のHPを立ち上げることができたが「ころぼっくる」については着手できなかった。

平成25年度 ふきのとう 事業報告

ふきのとう施設長 江川 修己

< 25年度の成果 >

1. 生産活動等売上

- ①木工事業 1,590,650 円(前年比 137,452 円の減)
- ②その他の収入 135,526 円(前年比 27,167 円の減)

2. 利用者支援の充実

- ①利用者数が20名以下で、ほぼワンフロアで木工作业・生活介護を行っているので、毎夕、スタッフミーティングを約1時間開き、全員の一日の活動・健康・メンタル・エピソード・予定等を記録し、評価し、共有している。非常にきめ細かく丁寧な処遇体制と言える。
- ②非常勤スタッフ含め、他の福祉施設での経験や、専門職・有資格者が多く日々の生活展開の検討、改善が迅速に成され、比較的重度の利用者が多いが充実した支援が、提供されている。
- ③その上、明るい笑いと活力に溢れた雰囲気醸し出している。
- ④主力商品「ちょー気持ちいい!!」は、四谷のおもちゃ美術館の仲介で全国各地から注文が入ると共に、様々な雑誌に取り上げられている。製作に携わる利用者にとって、大きな励みと成っている。
- ⑤商品数は減ったが、「絵付きヒモ通し」等ユニークな作品は売れ行きが良く、製作意欲の向上が図られている。
- ⑥文化的活動は、引き続き行われ、週3回のハンドベル、月2回の絵画教室、月1回の絵手紙教室が定期的に開催されている。
- ⑦其々の生活能力の向上の為、算国の学習、パソコン技術の習得、預貯金の練習、歩行訓練、立位保持の練習、独力での摂食等々取り組まれている。
- ⑧健康面は、週1回の看護師による健康チェック、ほぼ毎日の体重、血圧等の測定、足湯の実施、導尿等排泄の介助、爪切り、緊急時の痰の吸引等実施している。又、3ヶ月に一度、島田療育園八王子センターの小沢医師が来所し、健康相談にのっている。
- ⑨社会参加の、「きょうされん」活動に力を入れ、ほぼ全員が、国会請願の署名・募金活動に参加し、寒い冬場、八王子駅前では他施設を圧倒する人数・大声で、「障害者の権利を守り、生活を向上させる」アピールを行った。それは、客体的存在からの訣別であり、主体的自己の獲得の雄叫びに他ならない。屈託なく明るく自己主張する、運動体としての「ふきのとう」と言えよう。

3. 地域との協力

- ①町内会の祭り、行事に例年通り参加した。
- ②隣接の畑を地域の方々に貸し出している。

4. 職員体制

- ①年度途中で施設長の交替があった。(平成26年1月)
- ②創設者の一人が、1月末に退職した。
- ③年度途中で、介護福祉士2名、ホームヘルパー1名、児童指導員1名を採用した。
- ④年度中に、社会福祉士1名、ホームヘルパー1名、送迎スタッフ1名、ボランティアスタッフ1名が、退職・活動終了した。

平成25年度 ころぼっくる 事業報告

ころぼっくる施設長 秦 淳一郎

I. 事業実績報告<地域生活支援事業>・・推移

① 認定短期入所事業 (八王子市在住の方を対象とする)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延べ利用日数	667	732	847	883
(前年度比)	(-86)	(+65)	(+115)	(+36)

② 日中一時支援事業 (八王子市・日野市在住の方を対象)

年 度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
延べ利用回数	1,677	1,605	1,499	1,447
(前年度比)	(+103)	(-72)	(-106)	(-52)

③ 移動支援事業 (八王子市の方を対象)

年 度	平成25年度
延べ利用回数	3
(前年度比)	(+3)

II. 活動内容報告 (主催行事)

今年度は、行事数を4回から8回に増やし、行事への申込は、ころぼっくるだよりでお知らせ後、すぐにご連絡をいただくことが多くありました。

- ・6月 カラオケ大会 16:00～20:30 参加者 11名
 - ・7月 外食会 16:00～20:30 参加者 6名
 - ・9月 カラオケ大会 16:00～20:30 参加者 8名
 - ・10月 カラオケ大会 16:00～20:30 参加者 7名
 - ・11月 外食会 16:00～20:30 参加者 8名
 - ・12月 イルミネーション見学会 16:00～20:30 参加者 12名
 - ・2月 カラオケ大会 16:00～20:30 参加者 11名
 - ・3月 スプリングコンサート 11:30～16:00 参加者 12名
- 演奏団体3団体 (手話コーラス山吹会・ラブリーリコーダー・えび〜た)

平成25年度 ひのき工房 事業報告

ひのき工房施設長 関 裕子

<25年度の成果>

1. 生産活動等売上 8,773,598円達成！ (円)

事業別	リサイクル	木工	農園	その他(請負作業等)	合計
25年度売上	4,011,766	3,054,609	346,685	1,360,538	8,773,598
前年度比	166,364↑	181,860↑	88,295↑	16,357↑	452,876↑

前年度より売上アップし、各事業の取り組みの工夫の成果が表れてきている。その結果、月々の工賃の他にボーナス2回と期末手当も出すことができ、利用者のやりがいに繋がった。リサイクル事業の市委託薪作り作業は、発注後早めに対応する等責任を持って取り組み、安全に行うことが出来た。3月には東京都補助金をいただきパッカー車を1台購入、又、アルミ缶リサイクル協会から「平成25年度アルミ缶回収協力者表彰」を賜った。(就労B:H25年度平均工賃月額 19,806円週1~5日利用者平均)

2. 「楽しみ増やす」「持っている力を引き出す」「自立に向けて」利用者支援を充実

- ① 毎週の職員会議、毎朝のスタッフミーティング等で情報を共有し協力して利用者支援を進めた。
- ② レクの充実：[毎昼休み]利用者さんと職員共に、トランプ、ウノ、将棋、散歩、卓球等 [年間行事]一泊旅行、お花見、紅葉狩り、コンサート鑑賞、カラオケ会、ゲーム大会、食事会等
- ③ 毎週1回、利用者さんの話し合いの場を設け(お話し会)、イベントの企画やいろいろなテーマで話し合い、それにもとづいて実施し、本人たちの希望や意見を実現できるようにすると共に、利用者さん同士のつながりを大切にして進めた。
- ④ 文字書練習、パソコン教室、月2回手話教室に加え1月からお菓子作り教室も開始。
- ⑤ 利用者さんの絵、木彫り等、積極的に文化展等に応募。その結果、H27年きょうされんカレンダー採用(今井隆氏)、第28回八王子市障害者文化展努力賞に入選(本宮政吾氏)、八王子東急スクエアでの展示(3名)など本人の自信に繋がり、楽しみを増やすことに繋がった。
- ⑥ 昨年度に就労した1名の就労後支援を毎週定期的につけ、就労は安定している。
- ⑦ 露の会後援会のご支援を受けて、利用者全員の団体生命共済保険加入を実施

3. 地元町会、学校、住民の皆さんとの協力関係をさらに強化

- ① 2丁目・3丁目町会の集団回収も順調
- ② 地元小学校・中学校と毎年交流 [城山小]:6年生の木工指導、サタデースクール、ペットボトル回収に協力 [城山中]:伝統音楽鑑賞会参加
- ③ 元八2丁目町会・3丁目町会・地元中学校・小学校などの合同総合防災訓練に利用者・職員33名が参加(2月)、その他2丁目町会定期総会、夏祭り、餅つき会、新年会、旅行等に参加、交流
- ④ 今年も地元のミニストップ様から利用者・職員皆さんに恵方巻き50本をいただき交流
- ⑤ 三田町会等の参加要請に応え、夏祭り、十二社灯明祭に出店、交流
- ⑥ 毎年の隣組北八日市4組総会に出席し近隣住民との親交を深め、又、2度の大雪除雪に協力

4. 毎月嘱託医訪問相談を実施、地元医療機関八王子保健生活協同組合との連携強化

- ① 4月より月に2~4回程理学療法士のリハビリを実施し、足の痛みが和らぐ等利用者・ご家族に喜ばれた。
- ② 嘱託医師の指導を受け、職員が付添い毎通所日に歩行リハビリ等を継続実施

5. 職員スタッフを増やし、職員体制強化とスキルアップ研修実施 [3月末現在、職員24名]

外部研修にも積極的に参加：(福)武蔵野会・(福)八王子いちょうの会(虐待防止)・こげら会・東社協・東京都訪問研修(白梅学園大学講師)等 年間研修24回 年間延参加職員87名

事業活動収支決算書

自 平成25年4月1日 至 平成26年3月31日

社会福祉法人 薩の会

(単位 円)

勘定科目		本部	ひのき工房	ふきのとう	ころぼっくる	合計	
サービス活動増減の部	収	就労支援事業収益	0	8,773,598	1,729,676	0	10,503,274
		木工事業収入	0	3,054,609	1,590,650		4,645,259
		リサイクル事業収入	0	4,011,766	0		4,011,766
		その他収入	0	1,707,223	139,026		1,846,249
	益	障害福祉サービス等事業収益	0	76,079,583	41,892,970	23,578,594	141,551,147
		自立支援給付費収益	0	61,624,910	36,667,970	0	98,292,880
		特定費用収益	0	1,553,673	241,000		1,794,673
		その他事業収益	0	12,901,000	4,984,000	23,578,594	41,463,594
		経常経費寄附金収益	16,000	192,500	120,000	38,000	366,500
		サービス活動による収益 計 (1)	16,000	85,045,681	43,742,646	23,616,594	152,420,921
	費用	人件費	8,959,792	47,405,874	28,464,194	20,738,007	105,567,867
		事業費	0	11,712,900	4,251,243	2,237,581	18,201,724
		事務費	773,065	5,808,905	4,315,082	2,384,324	13,281,376
	就労支援事業費用	0	8,236,416	1,915,210	0	10,151,626	
	減価償却費	5,534	11,651,714	1,302,351	1,840,083	14,799,682	
	国庫補助金等特別積立金取崩額	0	6,717,903	839,346	1,376,731	8,933,980	
	サービス活動費用 計 (2)	9,738,391	78,097,906	39,408,734	25,823,264	153,068,295	
	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	-9,722,391	6,947,775	4,333,912	-2,206,670	-647,374	
	内 就労支援事業増減差額	0	537,182	-185,534	0	351,648	
	サービス活動外増減差額 (4)	31,335	1,551,638	101,773	190,947	1,875,693	
	経常増減差額 (5) = (3) + (4)	-9,691,056	8,499,413	4,435,685	-2,015,723	1,228,319	
特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	1,490,000	3,750,000	892,000	0	6,132,000
		拠点区分間繰入金収益	3,756,000	0	0	1,000,000	4,756,000
		サービス区分間繰入金収益	6,168,000	0	0	0	6,168,000
		特別収益 計 (6)	11,414,000	3,750,000	892,000	1,000,000	17,056,000
	費用	固定資産売却損・除却損	1,572	0	1,105	0	2,677
		国庫補助金等特別積立金積立額	1,490,000	3,750,000	892,000	0	6,132,000
		拠点区分間繰入金費用	1,000,000	0	3,756,000	0	4,756,000
		サービス区分間繰入金費用	0	6,168,000	0	0	6,168,000
	特別費用計 (7)	2,491,572	9,918,000	4,649,105	0	17,058,677	
	特別増減差額 (8) = (6) - (7)	8,922,428	-6,168,000	-3,757,105	1,000,000	-2,677	
	当期活動増減差額 合計 (9) = (5) + (8)	-768,628	2,331,413	678,580	-1,015,723	1,225,642	
繰越活動		前期繰越活動収支差額 (10)	379,758	31,507,605	17,501,242	6,902,745	56,291,350
		当期末繰越活動収支差額 (11) = (9) + (10)	-388,870	33,839,018	18,179,822	5,887,022	57,516,992
		施設整備等積立金取崩額 (12)	0	0	988,850	0	988,850
		次期繰越収支差額 (13) = (11) + (12)	-388,870	33,839,018	19,168,672	5,887,022	58,505,842

ご寄附いただいた皆様に感謝申し上げます。

ご寄附御礼 ※期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

◎ころぼっくる運営資金として

山田様、蒔の会後援会様、山崎様、三上様

◎ふきのとう運営資金として

秋山様、伊藤様、東京都共同募金会様、岩澤

◎ひのき工房運営資金として

高橋様、山田様、荒井様、二丁目町会様、茂木様、仲間様、遠藤様、東京都共同募金会様、関、岩澤

◎蒔の会運営資金として

平松様、笹野様

※寄附金の金額については割愛させていただきます。

昨年、蒔の会のホームページ（HP）を開設させていただき、情報の発信を進めております。特に、機関誌ではスペースの関係で掲載できない、予算、決算の詳細も掲載してありますので、ご覧下さい。

また、各施設のHPも充実しており、ふきのとうのHP※には、動画も沢山載せていますので、是非ともご覧ください。（※各施設からリンク）今年、ころぼっくるのHPも開設予定です。

♡♣♠ 蒔の会 HP : <http://fukinokai-swc.jimdo.com> ♡♣♠

社会福祉法人 蒔の会

menu

- ホーム
- 蒔の会について
- ご挨拶
- 組織図
- 沿革
- 各施設
- 後援会
- 機関誌
- 決算報告
- 個人情報保護方針
- アクセス
- お問合わせ

蒔の会のめざすもの

『いろいろな障害のある人たちがいきいきと働き、住み慣れた地域で心豊かに楽しく暮らしていける』よう支援します

- 障害のある人たちや、支える人たちの「問題解決のニーズ」に応えます。
- 障害のある人の人間としての尊厳を守り、利用者の立場に立った支援を行います。
- 地域の人たちとの交流の場を増やし、理解と支援の輪を広げます。

活動内容

就労支援
「働く力」を身につけることを支援します。

生活支援
「生活する力」を身につけることを支援します。

「ふきのとう」
一人ひとりの障害に合わせて生活する力を身につけます。

就労支援
「働く力」を身につけることを支援します。

生活支援
「生活する力」を身につけることを支援します。

ショートステイ 移動支援
障害のある人を支える人々を支援します。
2013年4月開始、事業開始

「ころぼっくる」
障害を持つ人が日々利用や宿泊の出来る施設です。

Facebookに登録して、友達を「いいね！」で見つけてみましょう。

ふきのとう トピックス



2014.4.20・21 旅行(大洗・澗沼)



2013.6.9 世界おもちゃサミット(早稲田大学)



2014.1.31 きょうされん国会請願署名(八王子駅前)



2013.5.24 イオンモール



2014.2.22 実演販売(イトーヨーカドー)



2013.7.13 木工製品販売(八王子東特別支援学校)

ころぽっくる トピックス

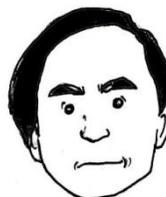
1. 職員似顔絵紹介 (ころだよりでご紹介した方々と送迎担当の方々です)



岡 宏尚



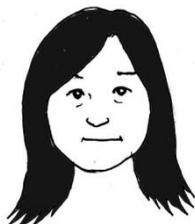
加倉井 幸一



村上 英二



中村 真理子



平松 礼子 (送迎)



木部 マリ子 (送迎)

職員総勢 27名

楽しさ、笑顔を大事に職員一丸でがんばりますので、よろしくおねがいします。

2. ころの年間行事予定・毎年人気の行事です!

月	事業所行事	月	事業所行事
6月	カラオケ大会	7月	外食会
9月	カラオケ大会	10月	カラオケ大会
11月	外食会	12月	イルミネーション見学会
2月	カラオケ大会	3月	スプリングコンサート

ひのき工房 トピックス

ひのき工房の新しい風



ひのき工房で新たに「お菓子作り」「お話し会」「利用者さん木工会議」を開始しましたよ。
これからみんなで一緒に作り上げていきたいと思っています。



企画の
立案&
実行!



わくわくピレージ&八王子城址へ

最近のこと in ひのき工房



一泊旅行 in 埼玉県



他施設見学

グット・トイ
2014年選定証を
頂きました!!



創作活動!桜のちぎり絵



こけしのキーホルダー
木工会議の試作品です!



ひのきの
ガラガラ

後援会だより

第12回落の会、後援会総会開催

去る6月13日(金)「ひのき工房」において利用者、関係者、職員の方々の参加を得て、開催されました。提案した議事の①活動報告②決算報告③会計報告が承認され④役員⑤新年度の取組みと予算計画についても全会一致で承認されました。主な提案内容は次の通りです。

平成25年度の活動報告

平成25年度の後援会活動の柱となる、施設の利用者が加入する「全労災」保険の掛け金の一部を負担することが出来ました。

他の取り組みについても、ほぼ達成することが出来ました。

平成26年度の取組みと予算

☆施設の利用者が加入する「全労済」保険の掛け金の一部を会で負担をします。

その為の会費の増施策を考えます。

☆各施設で取り組む行事(ひのき工房祭り、いちよう祭り、「ころぼっくる」のクリスマス会等)に支援をしていきます。

☆機関誌「落の会だより」の発行に合わせて後援会の周知活動に努めます。

☆本部のホームページに後援会の活動を掲載します。

☆落の会本部及び各施設の職員の方々との連携を強めます。

26年度の役員は次の通りです。宜しくお願ひします。

会長	石川 三郎	副会長	百崎 道子
会計	大神田 芳子	事務局長	遠藤 秀男
幹事	伊藤 要子	幹事	木崎 真由美
幹事	佐藤 悦子	幹事	山本 武志
会計監査	前田 和江	会計監査	平松 廣

「落の会後援会」平成25年度決算報告		
平成25年4月1日～平成26年3月31日		
科目	収入	摘要
会費	256,000	会員数 55名
返戻金	4,490	全労済団体保険一部負担金中途解約
雑収入	3,398	役員会会費残金・野菜売り上げ
繰越金	763,269	
計	1,027,157	
科目	支出	摘要
施設援助費	30,000	ころぼっくるクリスマス
寄付	224,640	全労済団体保険一部負担金
振込手数料	6,185	
通信費	3,250	はがき 65枚
会議費	10,866	総会
慶弔費	0	
消耗品費	0	事務用品他
繰越金	752,216	
計	1,027,157	

「落の会後援会」平成26年度予算		
平成26年4月1日～平成27年3月31日		
科目	収入予算額	摘要
会費	300,000	60名
寄付金	30,000	
繰越金	752,216	
計	1,082,216	
科目	支出予算額	摘要
寄付	280,000	全労済団体保険一部負担金「ひのき工房・ふきのとう」
施設援助費	30,000	ころぼっくる
通信費	20,000	はがき・切手
会議費	20,000	総会
消耗品費	10,000	振込用紙印字サービス・事務用品
振込手数料	10,000	
予備費	712,216	
計	1,082,216	



多大なご支援ありがとうございます

25年度後援会会費を納入して頂き、心から厚く御礼申し上げます。
この会費は「ふきのとう」「ひのき工房」「ころぼっくる」の三施設の活動に有効に使わせていただきます。皆様のお名前を掲載させていただきます。(敬称略・順不同)

期間 平成25年4月1日～平成26年3月31日

山田 政行	大神田 芳子	橋本 徹	村上 真弓
清水 茂子	志村 久義	小関 秀規	秋山 保男
関口 英子	本堂 公子	井出 太刀三郎	高津 福枝
植松 敏夫	㈱溝口祭典	岸 昌江	下楠 蘭 アヤ子
大日向 宏	斉藤 セキ子	石川 三郎	江間 和子
南 廣子	百崎 道子	福田 洋	山本 武志
大木 哲史	熊谷 弘之	佐藤 修	山本 友明
荒井 盛雄	村松 昌男	㈱愛和セレモニー	柿下 良治
倉石 春子	岩澤 はやと	柿下 豊一	野中 俊正
峯田 正代	高橋 勇	高松 房枝	田中 裕之
(有)たゞろがきョウ	西東京事務機㈱ 小野里 幸美	西村 和佳子	川合 厚子
佐藤 一平	高橋 巖	遠藤 秀男	椛島 成治
林 和子	関口 大輝	松岡 千晶	清水 真理
鶴谷 啓一	関 裕子	岩澤 六夫	

「落の会 後援会」への会費納入のお願い
年会費 一口 1,000円 一口以上
お振込み先/郵便口座 0150-8-194227
口座加入者 落の会 後援会
(振込用紙が紛失した場合は上記にお願いします)

編集後記

社会福祉法人「落の会」の活動報告を、ご利用者のご家族様、ご支援を頂いている後援会会員の皆様、更には、地域の皆様へお届けするのは法人として最低の責務と考えます。今後は、昨年開設した落の会のホームページからも情報の発信をして参ります。

引き続き法人や各施設へのご意見・ご提案いただけますよう、ご支援・ご協力をお願い致します。(本部 渡辺)

TEL 042-667-2158 FAX 042-667-2168 e-mail fukinokaihonbu@yahoo.co.jp

落の会 HP : <http://fukinokai-swc.jimdo.com>

※管理不十分で送付された皆様には誠に申し訳ございません。お詫びいたします。

ちょー気持ちいい！！

東京多摩産材（ひのき）を使用しているので、安心・安全です。とても心地よい手ざわりで、手に取ったすべての人に木の良さを味わってもらえます。シンプルで、多様な遊び方が楽しめます。



ゲット・トイ 2011 選定
商標登録取得
商願 2012-043007

発行人
郵便番号一五七〇〇七三
東京都世田谷区砧六一二六一二
障害者団体定期刊行物協会
社会福祉法人 露の会

定価一〇〇円
(会費に含まれます)



ふきのとう 木工製品

★★★「ちょー気持ちいい！！」の遊び方 ★★★

- ・赤ちゃんのおしゃぶり（なめても安心です）
- ・ままごと、積木、ドミノ、ポーリングの素材
- ・床の上で並べて顔を作る表現遊び
- ・お風呂に浮かべて森の香りを楽しむ
- ・ママの癒しグッズ、つぼ押し
- ・障害者や高齢者のリハビリグッズ
- ・・・・などとして、多様に楽しめます！



製造者：障害者サービス事業所ふきのとう
所在地：東京都八王子市東浅川町 625-5
電話：042-667-4158 FAX:042-667-9489